

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日 更新

事務事業名		合志市レジ袋削減推進事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	野口 政浩
	施策	22 地球温暖化防止対策の推進				所属課	環境衛生課	担当者名	泉田 聡
	施策の柱	64 地球温暖化防止対策の推進				所属班	環境衛生班	(内線)	1145
予算科目		会計一般	款4	項2	目1	事業連番11541	根拠法令	合志市レジ袋削減推進協議会設置要綱	
								成果優先度評価結果	④
								コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に向け、レジ袋の削減のために市民団体・事業者・行政等が相互理解と連携を図り、合志市におけるレジ袋の削減に向けた取組みを支援する。
【業務の流れ】	レジ袋の有料化に取組む市内事業所(9店舗)より毎月の実績報告書を提出してもらい、市のホームページにて定期的に情報公開している。
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	大型チェーン店など、レジ袋有料化に踏み切れない事業所もあり、今後の課題となっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
各事業所よりレジ袋有料化(削減)に向けた取り組み状況の報告を収集し、ホームページにて情報を公開した。		レジ袋削減に向けた啓発活動を、引き続き実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 協議会の開催回数	回	予算計上はない。
イ 広報・啓発の回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等事業所、市民		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 世帯数
		イ 事業所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
CO2発生抑制とごみ減量化に即した生活や事業活動が出来る。		→ ア マイバック持参率
		イ レジ袋無料配布中止を行った事業所
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ～ 年度
市民が身近に取組むことができるレジ袋削減及びマイバック持参を推進することで、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量の削減やごみ排出量の抑制が図れる。マイバック持参率については県の設定目標に基づき、80%と設定した。取組む事業所の件数については新規開拓により増えると見込み、10店舗とした。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	回		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ	回		2	1	2	1	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア	世帯		22,392	22,948	22,900	23,552	23,300	23,700	23,900	24,100	
	イ	件		96	96	96	96	96	96	96	96	96
③ 成果指標	ア	%		83.2	82.6	80	78.3	80	80	80	80	80
	イ	件		8	9	10	9	10	10	11	11	11
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	4	4	3	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	45	45	100	45	100	100	100	100	100
		(B) 人件費計	千円	179	0	398	0	398	398	398	398	398
	トータルコスト(A)+(B)	千円	179	0	398	0	398	398	398	398	398	

事務事業名	合志市レジ袋削減推進事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 本年度も引き続き啓発活動を行い、協力店舗の新規開拓を図りたい。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全事業所に対し周知啓発を行い、有料化に取組む事業所を増やすとともに、市民への情報提供と意識高揚に努める。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 広報紙・ホームページでの啓発を徹底することで、市民の意識高揚を図ることができ、成果の向上が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 地球温暖化防止事業と類似しているが、レジ袋削減に向けた取り組みは単独事業として推進していく。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 予算の計上はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 啓発は必要であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全事業所、全市民が対象であるので公平公正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 地球温暖化防止及びごみ減量は行政が取り組む課題であるので適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成24年8月に推進協議会は解散したが、今後も引き続き市民への周知・啓発を行う。現在は9事業所が有料化に取組んでいる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善 (有効性改善)
☐事業のやり方改善 (効率性改善) ☐事業のやり方改善 (公平性改善)
☐現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

〔有効性改善〕広報紙・ホームページでの啓発を徹底することで、市民の意識高揚を図ることができ、成果の向上が見込める。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策

レジ袋有料化で売り上げに影響が出る可能性もあり、事業所への啓発方法に課題がある。